

都市再生整備計画 事後評価シート
金沢西部地区

平成26年3月

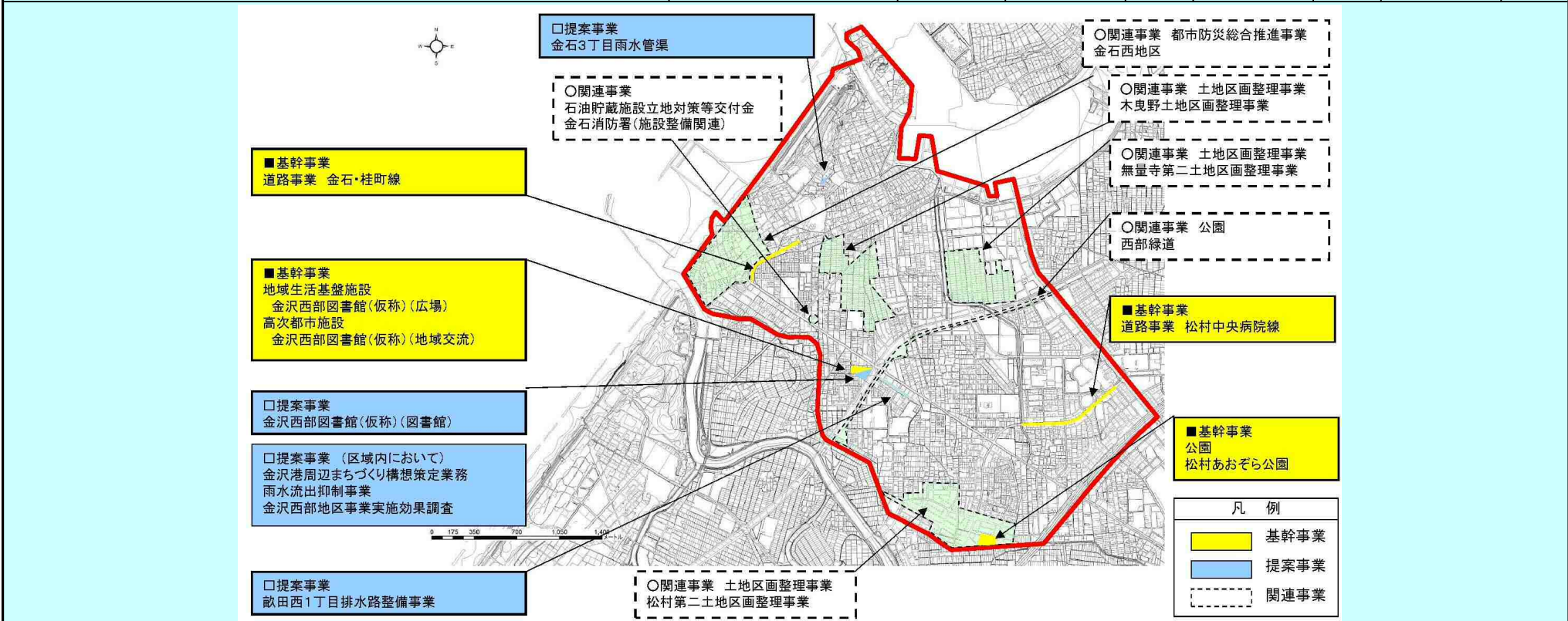
石川県金沢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	金沢市		地区名	金沢西部地区			面積	792ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	4,029.0百万円	国費率	0.299				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路:松村中央病院線・金石・桂町線 公園:松村あおぞら公園 地域生活基盤施設:金沢西部図書館(仮称)整備事業(広場) 高次都市施設:金沢西部地域交流センター(仮称)整備事業										
		提案事業	地域創造支援事業:金沢西部図書館(仮称)整備事業(図書館)、金沢港周辺まちづくり構想策定業務、畝田西1丁目排水路整備事業、雨水流出抑制事業 事業活用調査:金沢西部地区事業実施効果調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路:普正寺・金石線	工法を精査し変更したことにより、補助対象外となったため削除			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。						
		提案事業	地域創造支援事業:金石曙団地防水事業	まちづくり交付金にかかる運用改善通知により、都市再生整備計画を変更し削除			区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。						
	新たに追加した事業	基幹事業	なし	-			-						
		提案事業	地域創造支援事業:金石北3丁目雨水管渠	雨水流出量の増大や近年の局所的な集中豪雨による浸水被害の軽減を図るために追加			区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。						
交付期間の変更	当初	平成20年度から平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	なし		-		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	モニタリング	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	区域内人口の増加	人	35,158	H19	36,400	H24	35,973	36.667	○	あり なし	土地区画整理事業施行区域に、更に地域生活基盤施設の整備や公園整備を実施することで、住宅地としての魅力がより向上されたことにより、区域内人口が増加しているものと考えられる。	-
	指標2	公共施設利用者数の現状維持	人/年	163,800	H17~H18	163,800	H24	184,145	186.647	○	あり なし	区域内人口の増加に伴い公共施設(公民館・児童館)利用者数は増加している。また、新たにオープンした海みらい図書館交流センターの利用が多く、全体として増加している。	-
	指標3	図書館登録割合の増加	%	17.9	H19	20.0	H24	24.6	39.4	○	あり なし	図書館のオープン、利用促進に向けた周知により、効果が現れている。	-
	指標4									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	モニタリング	数値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	区域年少人口の増加	人	5,668	H19		5,796	5,778			子育て世代が望む各種都市基盤が整いつつあり、年少人口は若干の増減はあるものの従前に比べ増加している。	-	
その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	各種統計データ等に基づくモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●平成24年度に予定している事後評価に向けて、毎年度、関連する統計データの収集、蓄積を図っていく。					
	住民参加プロセス	・地元説明会の開催【西部図書館開設準備室】 ・名称検討委員会【西部図書館開設準備室】		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●今後とも随時、周辺住民や利用者の意見を取り入れ、利用しやすい施設運営に努める。 ●今後とも、市民参加型のイベント等を通じて、館への愛着を高める。					
	持続的なまちづくり体制の構築	「海みらい交流祭」、「地域のたからもの展」の開催【金沢海みらい図書館】		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●今後ともイベント等を通じて、住民主体のまちづくりに寄与する。					

様式2-2 地区の概要

金沢西部地区(石川県金沢市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
交流機能の拡充と生活環境の整備 目標1 地域交流拠点の整備 目標2 良好な住環境の整備 目標3 歴史的な景観の保存活用	区域内人口の増加	人	35,158	H19	36,400	H24	36,667	H25.7
	公共施設利用者数の現状維持	人/年	163,800	H17~H18	163,800	H24	186,647	H25.3
	図書館登録割合の増加	%	17.9	H19	20.0	H24	39.4	H25.7
	-	-	-	-	-	-	-	-
	区域年少人口の増加	人	5,668	H19	-	-	5,778	H25.7



まちの課題の変化

- ・地域のコミュニティ形成の核となる施設交流拠点施設の整備が急がれていたが、金沢西部地域交流センター(仮称)が計画どおり整備され地域の歴史文化など各種情報発信が行われているなど、地域コミュニティの拠点として機能している。
- ・地元住民からの要望だった地域のまちづくりの拠点としての図書館整備について、生涯学習や育児支援、交流機能を併せ持つ海みらい図書館が整備され、図書館登録割合が増加するなど、地域のまちづくりの拠点としての機能を発揮している。
- ・急激な人口の増加に対して良好な住環境の整備が求められていたが、一次避難地としての役割を持たせた公園整備や雨水流出抑制施設の整備等により住環境の向上が図られた。
- ・昔からの港町としての歴史的な景観の保存活用が将来ビジョンとして掲げられていたが、海みらい図書館内に北前船で栄えた地域の歴史・文化を伝える日本海情報コーナーが設けられたほか、金沢港周辺まちづくり構想が策定された。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・生涯学習や育児支援、交流機能を併せ持つ地域のまちづくりの拠点として、公民館や児童館と連携し、周辺住民や利用者の意見を取り入れ、利用しやすい施設運営に努める。また、市民参加型のイベント等を通じて、館への愛着を高め、住民主体のまちづくりに寄与する。
- ・地域交流拠点や公園を一次避難地として利用する場合の防災訓練の実施など、地域ぐるみによる防災意識の向上に努める。
- ・金沢港周辺まちづくり構想を踏まえた具体策の検討や、金沢海みらい図書館内の日本海情報コーナーの利用促進に努める。
- ・金沢海みらい図書館周辺の交通混雑改善について、来館者駐車場の確保のほか、基幹となるバス路線の充実化を図り、来館者への公共交通機関利用を促す。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	松村中央病院線	45.0	L=850m	21.0	L=681m	H21年度区間から他の補助事業で実施することとしたため延長を削減	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
道路	金石・桂町線	30.0	L=1,300m	19.6	L=1,300m	事業を精査した結果、事業費の減となったため	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
道路	普正寺・金石線	10.0	L=450m	—	—	工法を精査し変更したことにより、補助対象外となったため削除	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
道路									
道路									
道路									
道路									
道路									
道路									
道路									
公園	松村あおぞら公園	50.0	A=10,055㎡	32.0	A=10,055㎡	トイレ建築工事の仕様変更による減額	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
公園									
公園									
公園									
河川									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	金沢西部図書館(仮称)整備事業(広場)	304.6	A=2,700㎡	659.0	A=6,320.33㎡	施設の基本・実施設計に伴い、広場面積を拡大	公共施設利用者数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設	金沢西部地域交流センター(仮称)整備事業	1,722.0	A=2,684.28㎡	1203.2	A=2,033.74㎡	施設の基本・実施設計に伴い、建物の面積を縮小	公共施設利用者数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	金沢西部図書館(仮称)整備事業 (図書館)	2,161.0	A=3,315㎡	2,014.5	A=3,405.23㎡	実施設計の完了に伴う精査の結果 事業面積を縮小	図書館登録者数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
	金沢港周辺まちづくり構想策定業務	3.0	—	2.0	—	H21年度から石川県事業で実施した ことによる事業費の削減	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
	畝田西1丁目排水路整備事業	10.0	L=325m	4.5	L=268m	詳細調査の結果により、工法を 変更し、事業延長を短縮	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
	雨水流出抑制事業	80.0	80箇所	50.0	50箇所	事業費の精査による削減	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
	金石曙団地防水事業	30.0	5棟	—	—	まちづくり交付金にかかる運用改 善通知により、都市再生整備計画 を変更し削除	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
	金石北3丁目雨水管渠	—	—	20.0	L=120m	雨水流出量の増大や近年の局所 的な集中豪雨による浸水被害の軽 減を図るために追加	区域内人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
事業活用調査	金沢西部地区事業実施効果調査	3.0	—	3.2	—	なし	—	●	
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画			
土地区画整理事業		木曳野地区	5,138	4,287	平成13年度～ 平成22年度	平成13年度～ 平成25年度	計画通りに事業完了予定	※市街地再生課	
土地区画整理事業		無量寺第二地区	3,480	2,833	平成16年度～ 平成23年度	平成16年度～ 平成26年度	計画通りに事業完了予定	※市街地再生課	
土地区画整理事業		松村第二地区	4,976	4,990	平成9年度～ 平成22年度	—	計画通りに事業完了予定	※市街地再生課	
公園		西部緑道	5,346	—	平成9年度～ 平成26年度	平成9年度～ 平成24年度	完成供用済	※緑と花の課	
都市防災総合推進事業		金石西地区	1,150	—	平成16年度～ 平成27年度	—	計画通りに事業遂行中	※市街地再生課	
石油貯蔵施設立地対策等交付金		金沢市	—	—	昭和53年度～	—	計画通りに事業遂行中		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	数値(エ)	数値(エ)	目標達成度※2	目標達成度※2	あり	なし				
指標1	区域内人口の増加	人	住民基本台帳により当該地区の人口を集計する。 評価値については平成25年7月1日現在値とする。	32,263	H9	35,158	H19	36,400	H24	モニタリング	35973	H22	モニタリング	●		
										事後評価	確定 ● 見込み	36,667	事後評価	○		
指標2	公共施設利用者数の現状維持	人/年	地区内の児童館、公民館の利用者数(統計資料)を集計する。 評価値は平成24年度値とする。	140,900	H14	163,800	H17~ H18	163,800	H24	モニタリング	184145	H22	モニタリング	●		
										事後評価	確定 ● 見込み	186,647	事後評価	○		
指標3	図書館登録割合の増加	%	区域内人口(住民基本台帳)に対する図書館登録者数(統計資料)の割合を集計する。 評価値については平成25年7月1日現在値とする。	-	-	17.9	H19	20.0	H24	モニタリング	24.6	H22	モニタリング	●		
										事後評価	確定 ● 見込み	39.4	事後評価	○		
指標4										モニタリング	-		モニタリング			
										事後評価	確定 ● 見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	土地区画整理事業施行区域に、更に地域生活基盤施設の整備や公園整備を実施することで、住宅地としての魅力がより向上されたことにより、区域内人口が増加しているものと考えられる。	
指標2	区域内人口の増加に伴い既存公民館や児童館の利用者数が増加、新たにオープンした海みらい図書館交流センター利用も多く、全体として増加傾向にある。	
指標3	図書館のオープン、利用促進に向けた周知により、効果が現れている。	
指標4		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
				基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	事後評価		
その他の 数値指標1	区域内年少人口の増加	人	住民基本台帳により当該地区の 人口を集計する。 評価値については平成25年7月 1日現在値とする。	5,401	H15	5,668	H19	モニタリング	5,796	H22	年少人口変化により、住環境充 実を説明する。	
								事後評価	確定 ●	5,778		
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
各種統計データ等に基づくモニタリング	予定どおり実施した	●【実施頻度】1回 【実施時期】平成23年2月 【実施結果】各指標について交付期間中の変化を確認することができた。	平成24年度に予定している事後評価に向けて、毎年度、関連する統計データの収集、蓄積を図っていく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
地元説明会の開催 【西部図書館開設準備室】	予定どおり実施した	●【実施頻度】大徳校下ほか 6回 【実施年度】平成20年度～21年度 【実施結果】館の運営体制や資料、施設のあり方について、周辺住民の意見を取り入れることにより、地域の要望に基づいた施設となり、利用が促進された。	今後も随時、周辺住民や利用者の意見を取り入れ、利用しやすい施設運営に努める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
検討委員会 【西部図書館開設準備室】	予定どおり実施した	●【実施年度】3回(地元代表及び有識者) 【実施年度】平成22年 【実施結果】館の名称決定の過程に、地元代表者等に参画してもらうことにより、館への愛着が高まり、利用が促進された。	今後も、市民参加型のイベント等を通じて、館への愛着を高める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
「海みらい交流祭」、「地域のたからもの展」の開催【金沢海みらい図書館】	予定どおり実施した	● 周辺住民の運営により、文化活動の発表や地域の遺産のPRの場を提供	周辺7公民館参加による実行委員会	今後もイベント等を通じて、住民主体のまちづくりに寄与する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (都市再生整備計画事後評価検討チーム)	関係各課 都市再生整備計画事業担当職員 (都市計画課、市街地再生課、緑と花の課、道路管理課、内水整備課、海みらい図書館、企画調整課)	各事業担当課と意見交換を実施 平成24年11月22日	都市計画課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		その他の数値指標1	
指標名		区域内人口の増加		公共施設利用者数の現状維持		図書館登録割合の増加		年少人口の増加	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	松村中央病院線	○	木曳野、無量寺第二、松村第二土地区画整理事業をはじめとする各種都市基盤の整備によって、良好な住環境の向上が図られたことにより着実な人口増加傾向として現れていると考えられる。	—	土地区画整理事業の順調な進捗に伴う区域内人口の増加により、公共施設利用者数は目標値を上回っている。また、海みらい図書館のオープンもあり公共施設利用者は増加傾向にあり、効果が発現しているものと考えられる。	—	金沢海みらい図書館のオープンにより、地域の住民の評価、期待も高く、図書館登録者割合は目標値を大きく上回っており、効果が発現しているものと考えられる。また、土地区画整理事業の進捗による人口増加も登録者増加に貢献しているものと考えられる。	—	子育て世代が望む各種都市基盤が整いつつあり、年少人口は増加していると考えられる。
	金石・桂町線	○		—		—		—	
	松村あおぞら公園	○		—		—		—	
	金沢西部図書館(仮称)整備事業(広場)	△		◎		◎		◎	
	金沢西部地域交流センター(仮称)整備事業	△		◎		◎		◎	
提案事業	金沢西部図書館(仮称)整備事業(図書館)	△	◎	◎	◎	△			
	金沢港周辺まちづくり構想策定業務	○	—	—	—	—			
	畝田西1丁目排水路整備事業	○	—	—	—	—			
	雨水流出抑制事業	○	—	—	—	—			
関連事業	金石北3丁目雨水管渠	○	—	—	—	—			
	木曳野土地区画整理事業	◎	◎	◎	◎	◎			
	無量寺第二土地区画整理事業	◎	◎	◎	◎	◎			
	松村第二土地区画整理事業	◎	◎	◎	◎	◎			
	西部緑道	○	—	—	—	—			
	都市防災総合推進事業(金石西地区)	◎	—	—	—	—			
石油貯蔵施設立地対策等交付金	—	—	—	—	—				

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	現在事業中である土地区画整理事業など各種都市基盤の着実な整備進捗を図り、引き続き良好な住環境の整備に努めていく。	地区内の児童館、公民館と新たな交流センターが相互に連携し、地域福祉や生涯学習、健康増進などの各種事業に取り組むなど施設利用増進に努めていく。	金沢海みらい図書館の利用促進に向けて、周辺住民や利用者の意見を取り入れた利用しやすい施設運営や市民参加型のイベント等を通じて、住民主体のまちづくりに取り組んでいく。	引き続き、子育て世代ニーズ対応の各種都市基盤の整備促進を図る。
-------	--	--	--	---------------------------------

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類										
指標名										
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	松村中央病院線									
	金石・桂町線									
	松村あおぞら公園									
	金沢西部図書館(仮称)整備事業(広場)									
	金沢西部地域交流センター(仮称)整備事業									
提案事業	金沢西部図書館(仮称)整備事業(図書館)									
	金沢港周辺まちづくり構想策定業務									
	畝田西1丁目排水路整備事業									
	雨水流出抑制事業									
	金石北3丁目雨水管渠									
関連事業	木曳野土地区画整理事業									
	無量寺第二土地区画整理事業									
	松村第二土地区画整理事業									
	西部緑道									
	都市防災総合推進事業(金石西地区)									
	石油貯蔵施設立地対策等交付金									

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (都市再生整備計画事後評価検討チーム)	関係各課 都市再生整備計画事業担当職員 (都市計画課、市街地再生課、緑と花の課、道路管理課、内水整備課、海みらい図書館、企画調整課)	各事業担当課と意見交換を実施 平成24年11月22日	都市計画課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
地域のコミュニティ形成の核となる地域交流拠点施設の整備	金沢西部地域交流センター(仮称)は計画どおりに整備が完了した。	既存の公共機関である公民館や児童館との連携、相互利用など、地域住民に分かりやすく、利用しやすい施設運営に努める。	金沢海みらい図書館完成に伴い、自家用車で訪れる来館車両による駐車出入口付近の交通混雑が頻繁に発生しており、今後、周辺住宅地に対する環境悪化が懸念される。
地域のまちづくりの拠点としての図書館の整備	金沢海みらい図書館は整備が完了し、地域住民の評価、期待も高く、図書館登録者割合は目標値を大きく上回っており、地域のまちづくりの拠点として機能を発揮している。	今後も随時、周辺住民や利用者の意見を取り入れ、利用しやすい施設運営に努める。	
良好な住環境整備	土地区画整理事業や一次避難地としての役割をもたせた公園や地域交流拠点が整備されるなど、良好な住環境が整えられた。	既存の公民館や児童館、新設された海みらい図書館などの公共施設の利用案内や各種防災施設の周知と、地域ぐるみによる防災訓練の実施が必要である。	
歴史的な景観の保存活用	金沢海みらい図書館内に、藩政時代に北前船で栄えた地域の歴史をと文化を伝える各種資料などを集めた日本海情報コーナーを設けることにより、平成21年3月に策定した「金沢港周辺まちづくり構想」を学ぶ場を提供することができた。	策定されたまちづくり構想の実現に向け、住民の意識向上を図るため日本海情報コーナーの活用が必要である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	地域のまちづくり拠点としての交流促進	生涯学習や育児支援、交流機能を併せ持つ地域のまちづくりの拠点として、公民館や児童館と連携し、周辺住民や利用者の意見を取り入れ、利用しやすい施設運営に努める。また、市民参加型のイベント等を通じて、館への愛着を高め、住民主体のまちづくりに寄与する。	・市民参加型のイベントの開催 ・各種地域連携事業の開催
	良好な住環境を持続するための防災対策の推進	地域交流拠点や公園を一次避難地として利用する場合の防災訓練の実施など、地域ぐるみによる防災意識の向上に努める。	・校区連携による合同防災訓練の開催 ・一次避難地であることの広報活動
	歴史的景観の保存活用の推進	金沢港周辺まちづくり構想を踏まえた具体策の検討や、金沢海みらい図書館内の日本海情報コーナーの活用に努める。	・金澤町家再生活用モデル事業などによる町家の保存、活用 ・街並みの修景整備 ・地域の歴史文化資源の保存及び魅力の発信

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	金沢海みらい図書館周辺の交通混雑改善	来館者駐車場の確保のほか、基幹となるバス路線の充実化を図り、来館者への公共交通機関利用を促す。	・公共交通利用促進事業
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	区域内人口の増加	人	35,158	H19	36,400	H24	確定 ●	36,667	○	あり	→	-	-	-
							見込み			なし				
指標2	公共施設利用者数の現状維持	人/年	163,800	H17~H18	163,800	H24	確定 ●	186,647	○	あり	→	-	-	-
							見込み			なし				
指標3	図書館登録割合の増加	%	17.9	H19	20.0	H24	確定 ●	39.4	○	あり	→	-	-	-
							見込み			なし				
指標4							確定			あり	→			
							見込み			なし				
指標5							確定			あり	→			
							見込み			なし				
その他の数値指標1	区域内年少人口の増加	人	5,668	H19	/		確定 ●	5,778		あり	→	-	-	-
						見込み	なし							
その他の数値指標2							確定			あり	→			
							見込み			なし				
その他の数値指標3							確定			あり	→			
							見込み			なし				

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		まちづくりの目標を達成するために、ソフト事業を立案するとともに、定量化できる指標の設定が必要である。
	うまく いかなかった点	目標3「歴史的な景観の保存活用」は、他の施策によるところが大きく、本計画での目標達成する直接的な事業や指標がなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	モニタリング、事後評価を実施したことにより、一連の事業実施効果が数値として明らかとなり、残された課題や効果の持続を図るべき事項が明確となった。	一連の事業を実施するにあたって、目標及びこれを数値化する適切な指標を設定し、事業の実施過程及び実施後にこれをチェックしながら今後のまちづくりに活かすことは、まちづくりを計画的、持続的に進める上で有効なシステムである。
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- ・今後、都市再生整備計画の活用予定地区
金沢中央地区(第3期)活用予定
- ・今後、事後評価を予定している地区
金沢中央地区(第2期)(平成25年度)
金沢犀川南地区(第2期)(平成27年度)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成25年9月10日～ 平成25年9月25日	平成25年9月10日～ 平成25年9月25日	担当課への 電話、FAX、電子メール	都市計画課 (都市再生整備計画担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	新聞広告にホームページ及び 担当課窓口による公表を告知	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	窓口閲覧	平成25年9月10日～ 平成25年9月25日	平成25年9月10日～ 平成25年9月25日		

住民の意見	公表期間中、市HPには62件のアクセスがあったが、意見等は特になかった。
-------	--------------------------------------

(6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	委員長:馬場先 恵子(金沢学院大学教授) 小林 史彦(金沢大学講師)	平成25年10月1日	都市計画課 (都市再生整備計画担当課)	金沢市都市再生整備計画評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	金沢市町会連合会長 金沢市校下婦人会連絡協議会副会長 金沢経済同友会専務理事				

審議事項※1	委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	
方法書	・特になし。
成果の評価	・人口増加の目標について、今後は既存の住宅地エリアと新しく造成されたエリアに分けて比較することも必要との意見があった。
実施過程の評価	・海みらい図書館への公共交通によるアクセス問題に触れ、今後は、施設整備だけでなく、いろいろな視点で検討し、横断的な組織でのまちづくりを進めるべきとの意見があった。
効果発現要因の整理	・妥当であると認められた。
事後評価原案の公表の妥当性	・妥当であると認められた。
その他	・特になし
事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・妥当であると認められた。
今後のまちづくり方策の作成	・海みらい図書館と公民館、児童館の連携による施設運営が重要であるとの意見があった。 ・海みらい図書館の駐車場増設も必要だが、利用しやすい公共交通のあり方についても対応が必要であるとの意見があった。
フォローアップ	・特になし
その他	・既存の住宅地における道路環境の改善など防災面についても、最低限必要な対策が望まれる。
今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・妥当であると認められた。
その他	・特になし

※1 審議事項の詳細は「都市再生整備計画評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、都市再生整備計画評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--